

2022年3月

高島屋東別館・重要文化財指定記念展 大大阪の百貨店

〔第Ⅰ部〕百貨店建築の登場

〔第Ⅱ部〕大大阪モダニズム

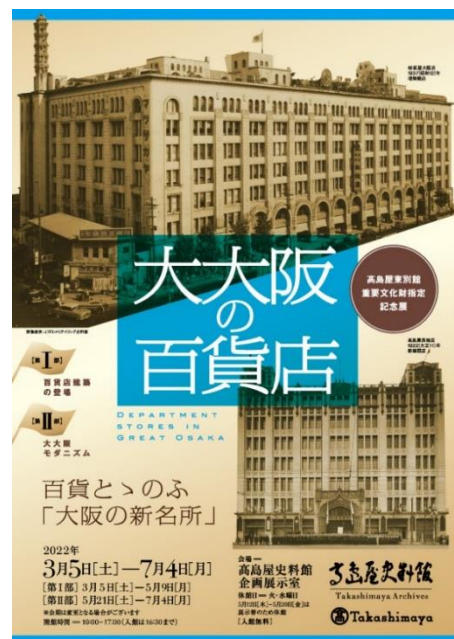
- 会 期 : 2022年3月5日(土)～7月4日(月)
〔第Ⅰ部〕3月5日(土)～5月9日(月)
〔第Ⅱ部〕5月21日(土)～7月4日(月)
- 会 場 : 高島屋史料館(大阪市浪速区 高島屋東別館3階)
- 開館時間 : 午前10時～午後5時(入館は閉館30分前まで)
- 休館日 : 火・水曜日
※5月12日(木)～5月20日(金)は展示替のため休館
- 入館料 : 無料

高島屋史料館は、2022年3月5日(土)から7月4日(月)まで、高島屋東別館・重要文化財指定記念展「大大阪の百貨店」を開催いたします。

いまから100年前の1922(大正11)年、高島屋は大阪・堺筋の長堀橋詰に近代ゴシック建築の大型店舗、高島屋長堀店を開店。これが高島屋の本格百貨店の始まりです。当時の堺筋は、三越、白木屋がすでに大店舗を構えており、長堀店開店の翌年には松坂屋が開店。市電が走る堺筋は、大阪随一のメインストリートとして繁栄しており、この時期の大阪は人口・面積で日本最大の都市になり、世界でも有数の大都市「大大阪」と呼ばれていました。華やかで活気にあふれた「大大阪時代」の象徴のひとつが、堺筋に並んだ百貨店建築でした。

しかし、昭和初年、御堂筋の建設計画が始まると、高島屋が南海店(現大阪店)を開店するなど、在阪百貨店の地図は大きく変化することになります。本展では、資料や写真など約90点を展示。文化、芸術、産業の中心であった「大大阪」の変貌を百貨店から見つめなおします。

※本展は会期をⅠ部・Ⅱ部に分け、展示資料を一部入れ替えて構成します。



第1章 堺筋へー

1922-1939 高島屋長堀店

堺筋は江戸時代、商都・大阪の中心を南北に走る最も重要な街道でした。明治のおわりには道路が拡張され、市電が開通、大阪随一のメインストリートとなりました。高島屋は当時心齋橋筋に店舗を構えていましたが、本格的な百貨店経営に向けて店舗の大型化を計画。1922(大正11)年、堺筋の長堀橋詰に長堀店を新築開店しました。高島屋の本格百貨店の始まりとなる、高島屋長堀店にまつわる資料やポスターなどを展示いたします。



高島屋長堀店開店
1922(大正11)年



高島屋長堀店前 堺筋の人出
大正末～昭和初期頃



高島屋長堀店開店ポスター
1922(大正11)年

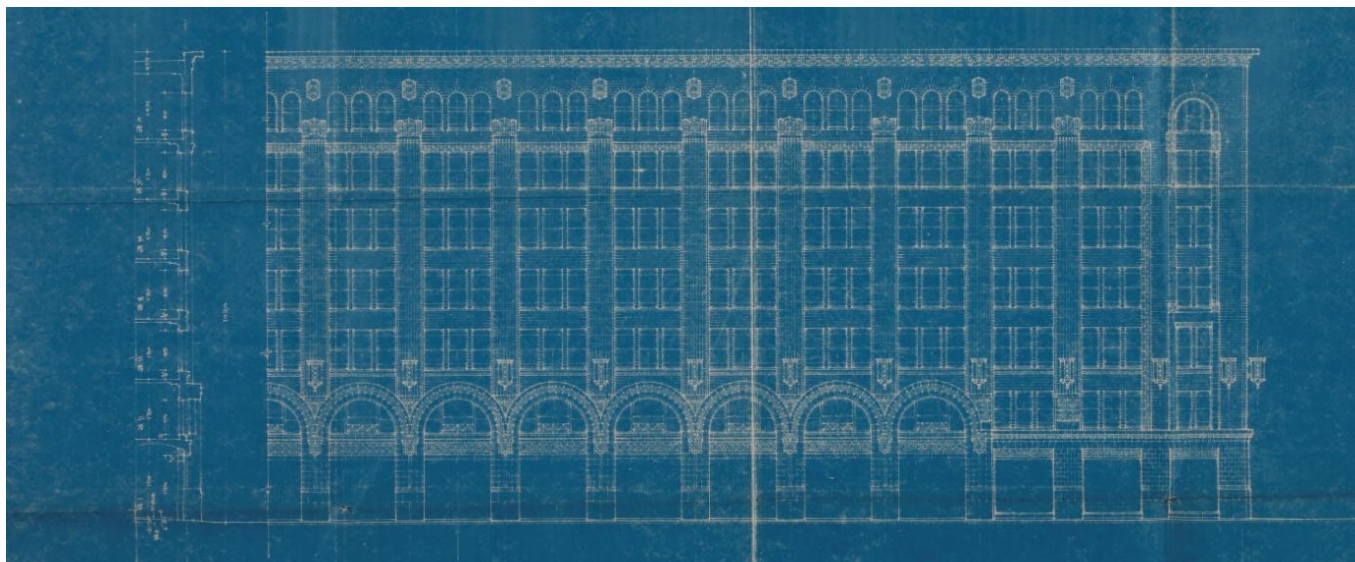


長堀店屋上から堺筋を望む 北側に白木屋・三越が見える
大正末～昭和初期頃

第2章 「百貨店通り」

1923—1966 松坂屋大阪店

高島屋が長堀店を開店した翌年、松坂屋が同じ堺筋の日本橋に大阪店を開店しました。大正期の堺筋にはすでに三越が高麗橋に、白木屋が備後町に、それぞれ大型店舗を建設していました。大正のおわり、堺筋は百貨店が建ち並ぶ「百貨店通り」と呼ばれ繁栄します。大阪が人口・面積で東京を抜き日本一の都市となった「大大阪時代」が到来したのもまさにこの時代でした。



松坂屋大阪店 堺筋側（西側）立面図 1935（昭和10）



松坂屋大阪店 ポスター 1937（昭和12）年
画像提供：J.フロントリテイリング史料館



松坂屋大阪店 絵葉書 1937（昭和12）年
画像提供：J.フロントリテイリング史料館

第3章 「御堂筋へー」

1930— 高島屋南海店

大阪・御堂筋の拡幅工事と地下鉄御堂筋線の開通は、第七代大阪市長・関一氏による「都市大改造計画」のメイン事業でした。これにともない、昭和のはじめに在阪百貨店の地図は、再び大きく変化することになりました。「梅田」に阪急百貨店、「難波」に高島屋南海店が誕生。それは「ターミナル百貨店」という新しい百貨店の出現でした。



高島屋南海店一部開店ポスター
1930（昭和5）年



全館完成当時の南海店周辺
1932（昭和7）年

【重要文化財・高島屋東別館(旧松坂屋大阪店)】

1928(昭和3)年に松坂屋大阪店として建築され、1937(昭和12)年まで3期にわたって(4期は中断)増築が行われました。1966(昭和41)年に松坂屋が天満橋に移転した後、1968(昭和43)年に高島屋東別館となり、往時の姿をほぼ保ったまま存続してきました。2020(令和2)年、建物の建築価値を守り継ぎながら、改修工事を完了。現在は宿泊を中心に、飲食や展示スペースを併設する複合施設となっています。2021(令和3)年8月、国の重要文化財に指定されました。高島屋が保存してきた貴重な建築遺構・部材の数々を展示公開いたします。



柱ダクトグリル



柱型頂部飾り



高島屋史料館展示室奥のエレベーターホール(常時公開)

イベント

① 講演会

「近代日本の百貨店建築史 ルネッサンス・セセッション・アールデコという美意識の変容」

- ・講師 川島智生氏(京都華頂大学現代家政学部研究所教授)
- ・4月10日(日)13:00～14:30
- ・定員 15名 ※要申込み、先着順

② 講演会

「百貨店からみる近代都市・大阪の歴史」

- ・講師 高岡伸一氏(建築家・近畿大学建築学部准教授)
- ・6月12日(日)13:00～14:30
- ・定員 15名 ※要申込み、先着順

③ 高島屋東別館見学ツアー

- ・講師 加藤雅久氏(居住技術研究所主宰)
- ・4月3日(日)、6月5日(日) 10:30～12:00/14:00～15:30 各日2回開催
- ・定員 各回10名 ※要申込み、先着順

※①～③いずれも参加無料、要申込み、先着順です。高島屋史料館ホームページからのお申込みとなります。
※状況により、イベントを休止する場合がございます。

学芸員によるギャラリートーク

- ・会期中の毎週土曜日 14:00～(約30分)
- ※申し込み不要、開始時間までに企画展示室にお集まりください。
- ※状況により、イベントを休止する場合がございます。

【高島屋史料館の新型コロナウイルス感染症拡大防止策について】

○感染防止への取組み

- ・館員の健康管理の徹底 ・館内の清掃、消毒の徹底 ・「飛沫感染防止シート」等の設置
- ・館内換気の実施 ・混雑時の入館制限

○お客様へのお願い

- ・少人数でのご来館をお願いします。
- ・ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください。
- ・入館時は、検温・手指の消毒へのご協力をお願いします。
- ・マスク着用のうえ、展示室内での会話はお控えください。
- ・体調がすぐれない場合や発熱がある場合などはご来館をお控えください。